



第4回「冬季県民レクリエーション大会・雪のシンフォニー」
黒部市宮野運動公園 2月5日

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/ 富山県政世論調査…P.4

県広報

とやま

エッセイ/吉友 嘉久子

さわやかに香りたい——表紙2

PIN UP TOYAMA

富山の雛人形——P.10

TRIP県政

流杉老人ホーム——P.12

ふるさとみてる記

福岡町——P.14

トピックス

①北陸新幹線本格着工決定——P.16

②税制が変わります——P.17

あな、カハ、五箇山カ好いです。

上平村英語指導助手 安里 広子 ジャンさん



ジャンさんが英語指導助手としてハワイから上平村へやって来たのは一昨年八月。「山の中できれいな所とは聞いていましたが、あまりに山なのでびっくり。最初はとても寂しかったです。でも、村の皆さんがあたたかくて、とても良くしてくださるものだから。すっかり村が気に入って、一年限りだった契約をもう一年更新。現在、上平小学校、中学校、そして英会話教室で教えています。

「子供たちは、とても素直。教えやすいです。向こうから話しかけられるとうれしいですね。休みの時間に冗談を言い合っている時が、いちばん楽しい。ジャンさんは、生徒からも村の方々からも大人気。その秘密は優しい人柄のよう。『ついつかわいがりたくなる』と村の皆さん。

「二年めに入って、私も村の一員だと実感するようになりまして。ビーチバレーボールの練習に参加したり、村の行事に引張り出されたりと、忙しいジャンさん。今はスキーに夢中で、毎週近くのスキー場へ通っているとか。

お茶やお花をこなすジャンさん。「もつと日本の伝統文化を勉強したい」と、琴も習いはじめました。「お年寄りから昔話もよく聞きますし、民謡も踊れますよ。おまけにカラオケが得意で、大好物は五箇山とうふ。ジャンさんは、立派な五箇山人です。



エッセイ

「さわやかに香りたいたい」

先日、六年振りに再会した新桜丸のキャプテン・ミッチー（弓場通義さん）は、海の男の逞しい匂いとやさしさをいっぱい持っていた。初めての出会いは青年の船一行が中国での研修から帰った日、富山新港に船が横づけになった時だった。金モールが胸のあたりに輝いて地球を八十五周もしたがすがしい海の男の姿がそこにあった。今はリタイヤして陸の暮らしになったというミッチーは久しぶりにこんな話をしてくれた。

「大自然のふとこでいろんなことがあった。中国の天津の港近く、澄み渡った秋の空は美しかった。急に空の一角に黒いかたまりが現れ渡

も知れない。ツバメが美しい愛を教えてくれた。豊かさの中に日本人の美しい心が失われつつあるのは最も悲しいことだ。

ミッチーの背後に大きな海が感じられ、潮の香りがした。愛情をもって誠実に噛みしめてきた人生の味がその人の香りをつくるのかも知れない。さわやかな花のような香りは言葉の奥にかくされた人柄の魅力から漂ってくる。

香り時代だからこそ、ふと胸のあつくなるような人生の味をしみこませて、私もいつの日かさわやかに香りたいたい。

「あら、お香の香りかしら」手にした名刺がほのかに香ってきた。世は「香りブーム」である。毛糸や眼鏡、シャワーヘッドも電話機も、そのうえ看板までが香りを放っている。

たしかにそんな香りは忙しい日々の人の心をやわらかく包んでなくさめてくれる。しかし、あくまで人工の香りで、自らにじんできるといってはいない弱さがある。その点、たとえば道端の雑草でも、そこには大地の水を吸い上げ、太陽の光を吸い込んできた生の逞しい匂いがこもっている。それがまた遠い思い出を誘って、香りは時間と空間を超えて、人間の温かいメッセージを伝えてくれる。

●協力研究員 北陸大学 吉友嘉久子



白銀に力強いシュプール

第26回全国中学校スキー大会

2月7日～9日 富山福山スキー場

暖冬による悪コンディションにもかかわらず、出場選手たちは練習の成果を存分に発揮しました。特にジャンプ競技にはたくさんの観客が集まり、中学生の思い切りのいいジャンプに惜しめない拍手を送りました。



冬のイベントは花ざかり

ローマアツン

第4回「冬季県民レクリエーション大会」

雪のシンフォニー

2月5日 黒部市宮野運動公園



雪の中でのふれあいの輪を広げようと、子供からお年寄りまで約二千五百人が参加。おだやかな冬の陽光のなか、自転車モトクロスやゲートボール、そり、フォークダンスなどを楽しみました。



若さあふれるブラスの響き

雪のファンタジーコンサート

2月5日 富山県民会館

四回めの今年は、富山商業高校吹奏楽部と女子高校生選抜バンドがブラスの響きを披露しました。「およげノたいやきくん」や「抱きしめてTONIGHT」など、若さあふれる歌と踊りに会場は大歓声。雪にちなんだ曲やステージパレードでは、ファンタジックな世界を演出してくれました。



ふるさとの味は大人気

とやまスノーピアート'89

1月15日～2月5日 富山城址公園

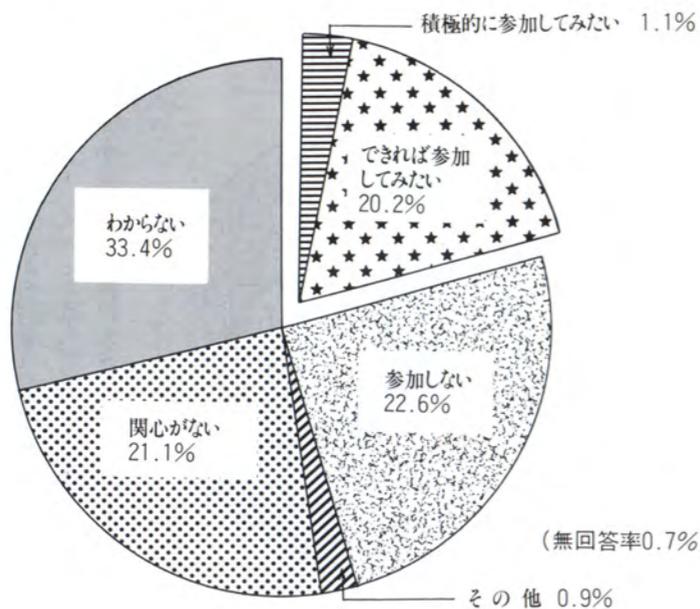
スノーピアートは、二月五日の「ふるさとの味通り」と「ちびっ子雪まつり」で締めくくられました。ポカポカ陽気に大勢の人が訪れ、大漁なべなどには長蛇の列。富山の味覚がずらりと並んだ「味通り」は大にぎわいでした。



問

外国人留学生関係の行事やボランティア活動が企画された場合、参加してみたいと思いますか。

外国人留学生関係の行事やボランティア活動への参加意向



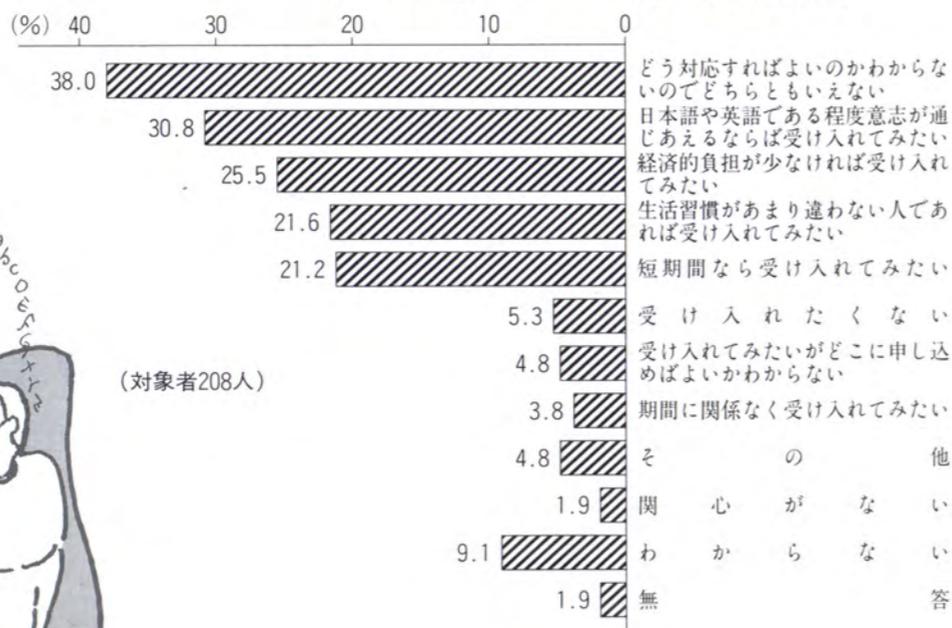
七三・七%が県内の大学に外国人留学生が学んでいることを知っています。しかし留学生関係の行事への参加希望は二割と少なく、ホストファミリーとしての受け入れについても、ほぼ四割が「どう対応すればよいかわからないのでどちらともいえない」と答えています。

国際交流

問

(前問で「参加してみたい人」に対して) ホストファミリーとして外国人留学生を受け入れてみたいと思いますか。(3つ以内)

ホストファミリー(受入家庭)としての外国人留学生の受入意向



現在、県内の大学には65名の留学生、研究員がいます。昨年7月、(財)とやま国際センターが行ったアンケートでは、彼らの92%が県民と交流する行事への参加を望んでおり、特に大学の学友との交流を深めること、県民と自由に交流できる場所の設置、青年との交流、ホームステイなどを求めています。

第19回 富山県政世論調査



県政世論調査は、みなさんが県政や日常の問題にどのような関心や期待を持っているかを把握し、県政推進の基礎資料とするために行っているものです。今回は県内各地域の成人男女千二百人を対象に次の十項目について調査しました。(回収率は81.2%で974人) この一部を紹介します。

- 調査項目
- (1) 富山空港
 - (2) 国際交流
 - (3) 出生
 - (4) がん対策
 - (5) サービスニーズ
 - (6) 米の消費と供給
 - (7) 交通指導取締り・警察
 - (8) 施策の認識
 - (9) 広報・公聴
 - (10) 県政への要望

出生

理想の子供数では「三人」を望む人が5割を占めますが、実際の希望子供数（現在の子供数）では「二人」という人が五割を占めています。これは教育費など子供にかかる経済的負担が大きくなった理由になっています。

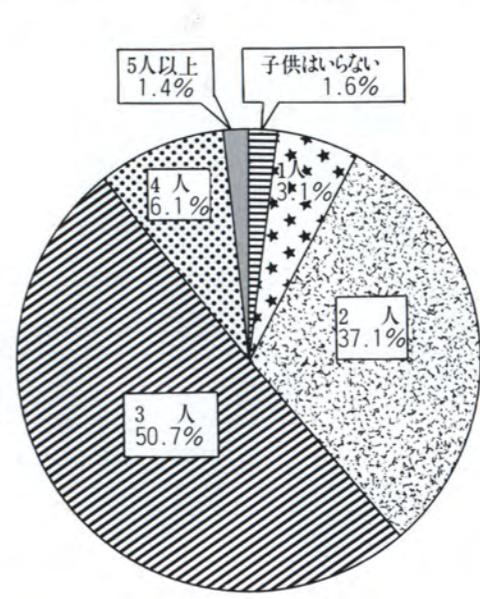
あなたの理想とする子供の数は何人ですか。

問

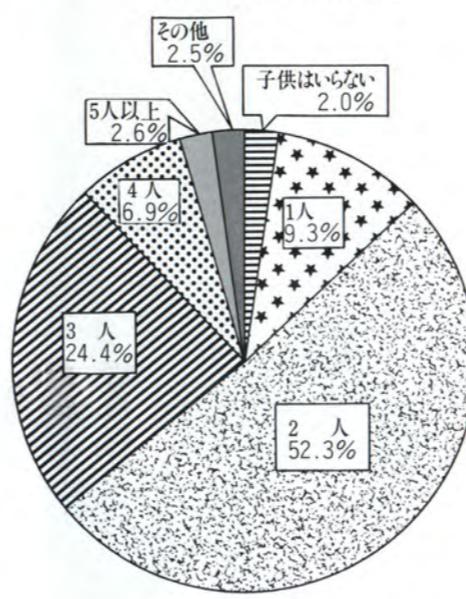
あなたは生涯に子供を何人持つつもりですか。または、持ちましたか。

問

理想の子供数



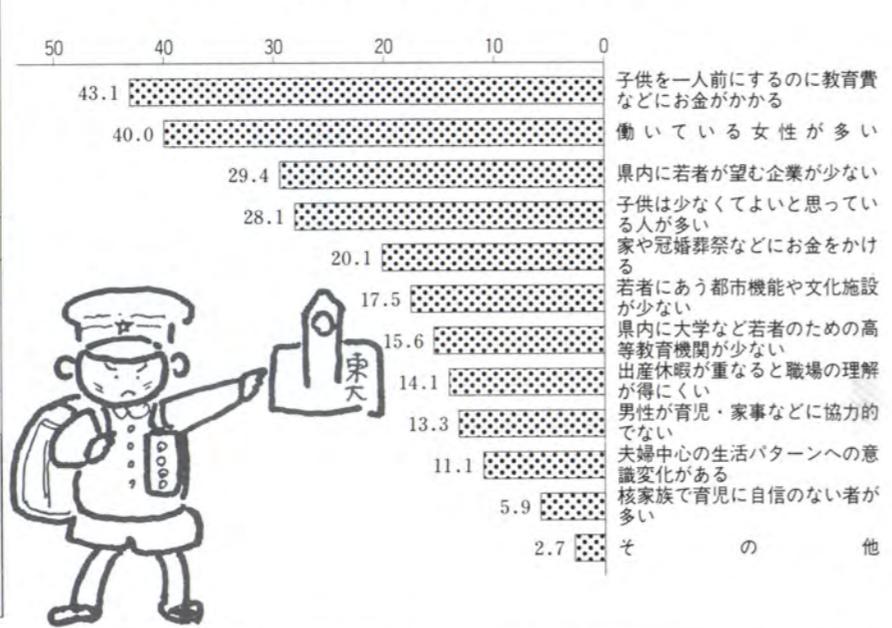
希望(または現在の)子供数



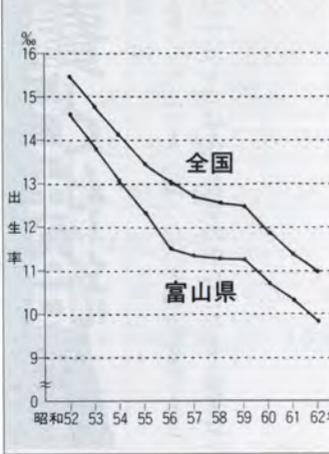
本県の出生率は全国低位にあります。その原因はどこにあると思いますか。

問

本県の出生率が全国低位にとどまっている理由



六十二年度の富山県の出生率（人口千人あたり）の出生率は、九・八人で、全国平均よりも一・三人少なく全国最下位です。



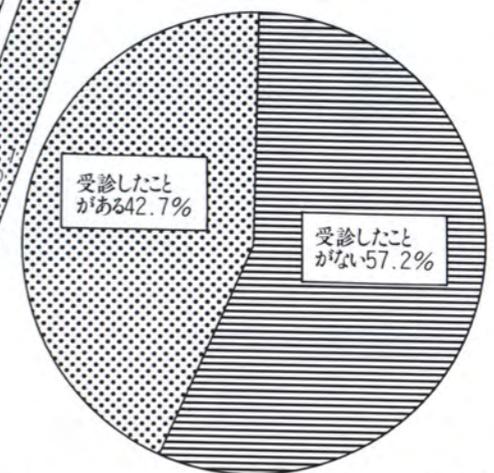
がん対策

およそ四人に三人が本県の高いがん死亡率を知っており、がんの予防として7割の人が「早期発見のため定期検診を受ける」ことをあげています。しかし、がん検診を「受診したことのある人」は、42.7%にすぎません。

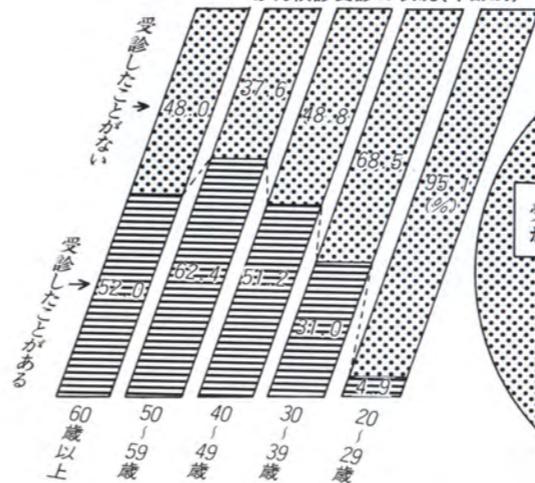
今までにがん検診を受診したことがありますか。

問

がん検診受診の状況



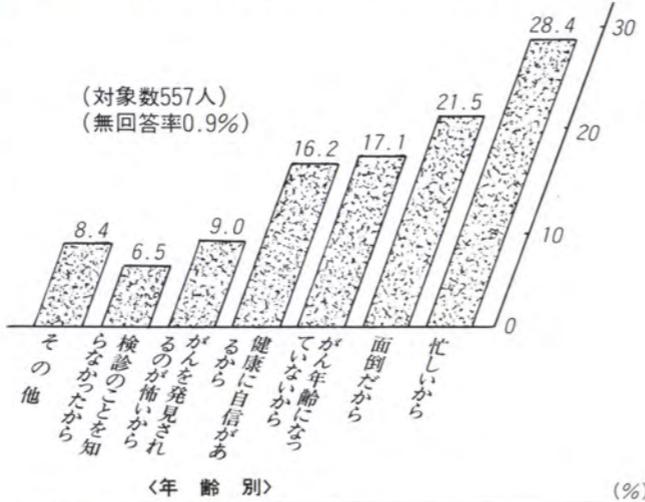
がん検診受診の状況(年齢別)



「受診したことがない」と答えた方へ
がん検診を受けないのはなぜですか

問

今までがん検診を「受診したことがない」理由



「受診したことがある」と答えた方へ
今までにどんながん検診を何度受診しましたか。

問

がん検診の受診状況

区分	検診率(全体)		受診者の受診頻度(構成比)					
	%	人数	毎年	隔年	3年に1回	4年に1回	5年以上に1回	無答
胃がん検診	33.9	331	60.1	20.2	7.0	0.3	5.1	7.3
子宮がん検診	30.8	156	47.4	25.0	12.8	0.7	7.7	6.4
肺がん検診	8.4	82	64.6	19.5	3.7	-	3.7	8.5
乳がん検診	9.7	94	58.5	20.2	8.5	3.2	4.3	5.3



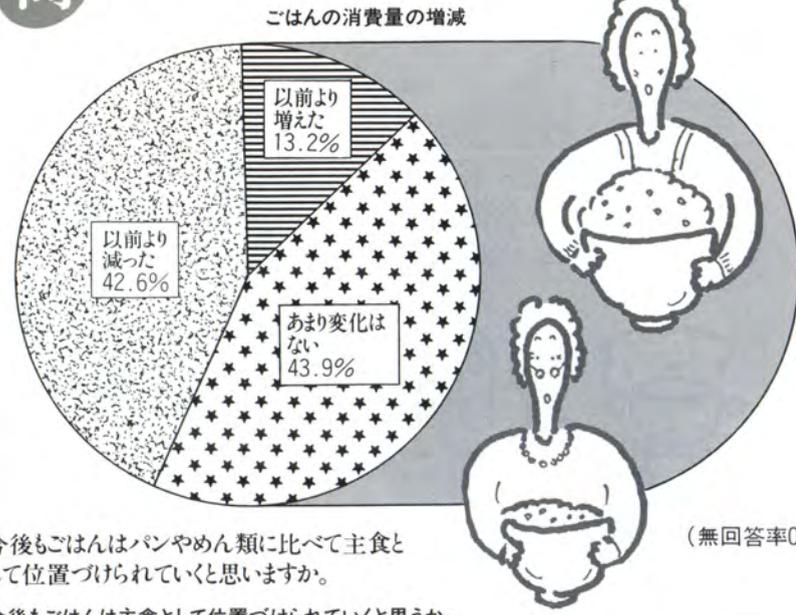
厚生省の「昭和六十三年健康マップ」によると、富山県の六十二年の一般健康診査の受診率は、五三・九%で全国二位です。ところが、胃がん検診は二・四%と二十七位、子宮がん検診に至っては八・四%と全国四十二位になっています。また、標準化死亡率(死亡率を年齢構成を考慮して補正したもの。全国平均が一〇〇)では、胃がん(男)が一・二・三でワースト二となっています。なお、子宮がんは八七・七で三十五位です。



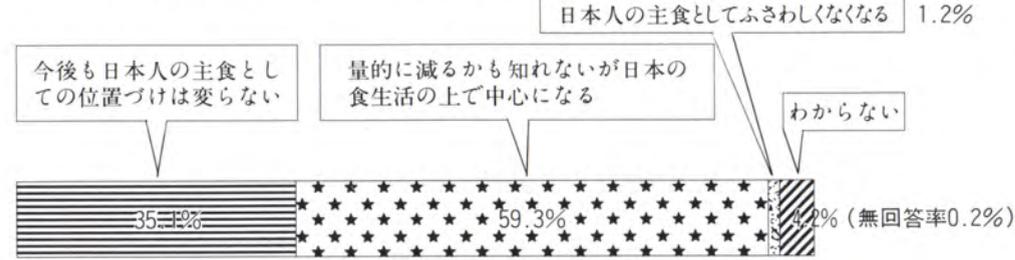
米の消費と供給

ごはんの消費量は、「増えた」人よりも「減った」人の方が多くなっていますが、九割以上の方が今後もごはんが食卓の中心になると考えています。

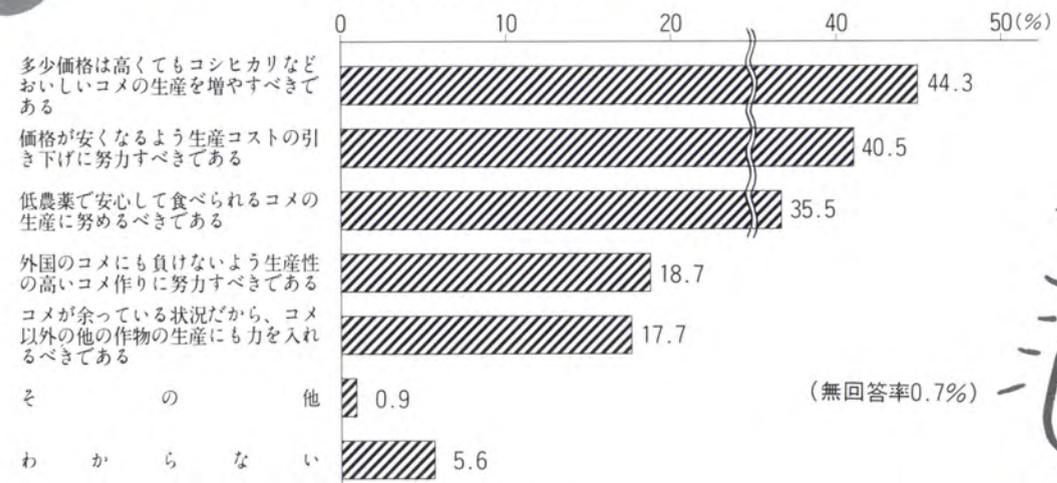
あなたのごはんの消費量は、10年程前に比べて増えましたか、減りましたか。



問 今後もごはんはパンやめん類に比べて主食として位置づけられていくと思いますか。
 今後もごはんは主食として位置づけられていくと思うか。



問 本県の農業は、「コシヒカリ」を中心とした良質米の生産に力を入れてきていますが、これからの本県の米の生産に何を望みますか。



県内の米の販売量は、減少ないし、横バイ傾向にあります。

うるち米販売量						
年度	50年	55年	60年	61年	62年	63年
販売量(トン)	58,646	56,591	54,443	54,340	52,049	54,383

(前年11月～10月)

県政への要望

県に最も力を入れてほしいものは、「総合雪対策」。昨年引き続きトップにあげられていますが、九〇ポイント低下しています。「高齢化対策」が二位にあげられているのは、早いテンポで進んでいる本県の高齢化に対応した施策が求められているものといえます。

問 いま県の施策で力を入れてほしいと思われるのはどんなことですか。(5つ以内)



県政への要望上位5項目(年齢別) (%)

	1位	2位	3位	4位	5位
20～29歳	北陸新幹線 38.2	総合雪対策 36.1	観光開発 34.0	道路整備 30.6	スポーツ・レクリエーション 27.8
30～39歳	総合雪対策 43.5	道路整備 30.5	物価・消費生活 29.0	雇用・労働対策 28.0	北陸新幹線 27.0
40～49歳	物価・消費生活/総合雪対策 36.2	高齢化対策 31.4	大学・短大等の整備 30.0	下水道整備 27.5	
50～59歳	総合雪対策 43.1	物価・消費生活/高齢化対策 42.1	下水道整備 33.2	北陸新幹線 29.2	
60歳以上	高齢化対策 47.5	社会福祉 35.7	総合雪対策 30.3	物価・消費生活 29.4	下水道整備 28.1

県政への要望上位5項目(59～63年) (%)

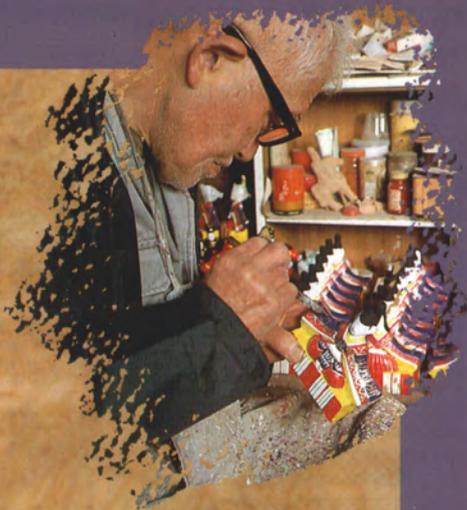
年度	59	60	61	62	63
1位	物価・消費生活(38.1)	物価・消費生活(35.4)	総合雪対策(52.4)	総合雪対策(46.8)	総合雪対策(37.8)
2位	下水道整備(28.9)	社会福祉(27.1)	物価・消費生活(34.1)	高齢化対策(31.4)	高齢化対策(33.4)
3位	社会福祉(28.7)	学校教育(26.7)	北陸新幹線(28.8)	物価・消費生活/北陸新幹線(27.0)	物価・消費生活(32.6)
4位	学校教育(28.4)	下水道整備(25.9)	社会福祉(27.9)	社会福祉(27.5)	社会福祉(27.5)
5位	医療・保健衛生(24.6)	北陸新幹線(25.3)	学校教育(25.6)	社会福祉(26.4)	北陸新幹線/下水道整備(27.3)

●さらに詳しくお知りになりたい方は、県庁広報課(内線326)へどうぞ。

富山の雛人形

木の素朴なイメージを、と森清映仁さん
土人形に取り組んで六十年、の渡辺信秀さん
日本の誇る心優しい生活文化を後世に、と橋本緋富さん
ほのかに香る木彫りの人形

あたたかな土人形
気品あふれる木目込人形
それぞれに思いを込めて作られる一対の内裏さまに
人形の原点をみる思いがします。



PIN-UP TOYAMA

撮影 滝川邦彦



細かい気配り、家庭的な雰囲気の中で 流杉老人ホーム

レポーター 佐藤紀子さん(富山市)

養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、合わせて百五十三名のお年寄りが入所されている県内最大の流杉老人ホームを訪ねた。まず驚いたのは、こういった施設にありがちな特殊な臭いが感じられなかったことだ。それどころか、入浴中の特別養護棟では石けんの香りと湯気がたちこめ、活気を呈していた。

老人ホームでクラブ活動!? 楽しい行事いっぱい。

「今日は二カ所でクラブ活動をしているんですよ」という所長さんの言葉に、私は少なからず驚いた。——えっ、老人ホームでクラブ活動!?

まず案内されたのは手芸クラブ。そこでは、おばあちゃんたちが、交通安全週間などに街頭で配られるマスコットを作っているところだった。フェルトを丸く切りぬく人、綿を詰めて縫いしぼる人、ひもをつける人。日あたりのよい和室で背中を丸めて手を動かしていた。「かわいいねえ。上手やねえ」と声をかけると、作り方を教えてくれ、帰りぎわ「これあげる」とマスコット人形を手渡ししてくれた。それから食堂で花ふきんを作る人たちもいた。このほか書道や華道、カラオケのクラブもあるとか。

ホームでは、五月に花まつり、八月には七夕、盂蘭盆、十二月にはクリスマス、新年があけると初茶会や豆まきなどが行われる。また手先・指先のリハビリなども兼ねてちぎり絵や紙ねん土細工などが行われ、秋には運動会も行われている。入所している方々が心身

ともに健康的で家庭的な雰囲気の中で楽しく暮らしていけるようにとの、職員の方々の気配りの行き届いた行事ばかりである。

また、すぐ近くの山室中部小学校の児童とのふれあひも、老人の方々にとってこのうえない楽しみであるという。そういえば、私が小学生や中学生のころも、老人クラブの方から生花や手芸や民芸品づくりを習ったものだった。貴重な体験、しかも楽しいひとときとして今でも覚えている。

職員の方々は、何かと老人の方々に声をかけ、あちこちで会話が聞こえた。思い描いていたよりずいぶん明るく家庭的なホームであった。

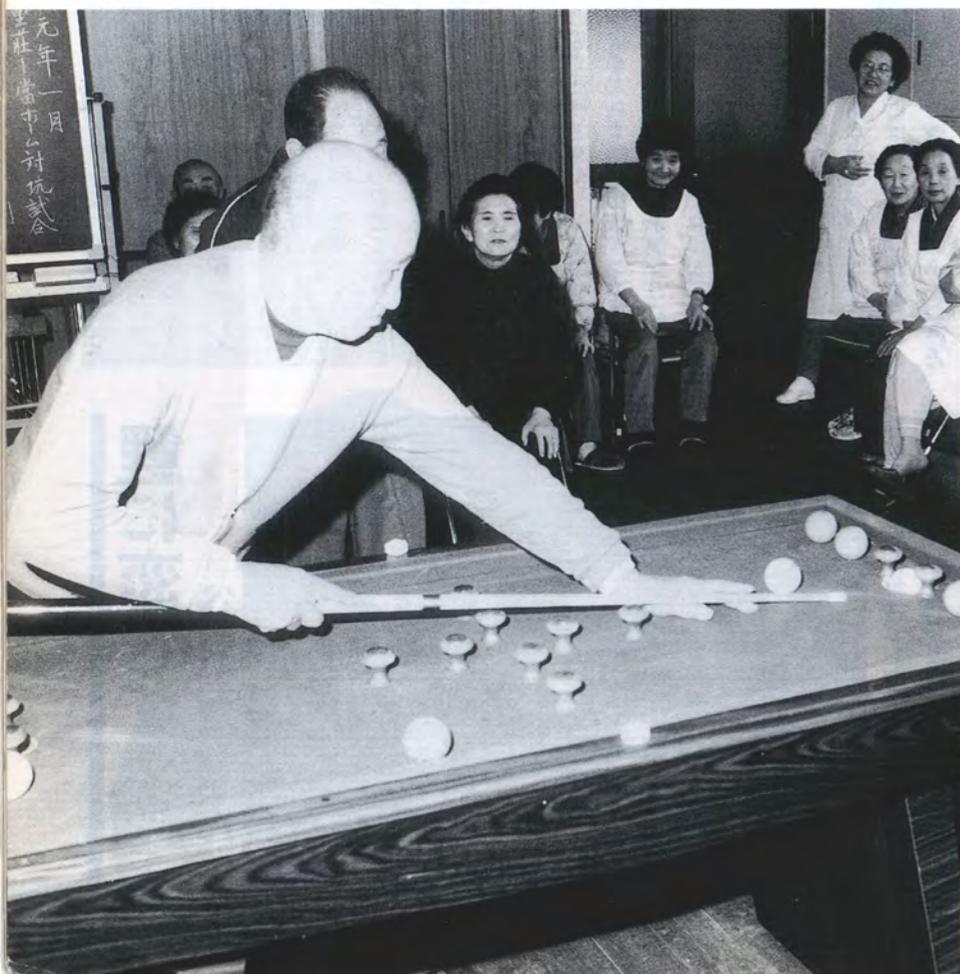
もうすぐ変身。 家庭的なケアに期待。

日本の人口が増加してゆき、しかも人口に占める高齢者の比率が高くなるといわれている今後、施設の許容人数をオーバーして、バンク状態になるであろうことは目に見えている。

誰にでも訪れる老後、わかりきっていることだが、意外とこれがわかつていない。皆が老いを正面から見つめることが老人福祉充実

への大きな一歩だと思う。

さて、この流杉老人ホームは、より生活面を重視した養護棟と、より介護面を重視した特別養護棟を兼ね備えた新しい施設に生まれかわることが決まっている。老人の方々も職員の方々も、今から楽しみにされているそうだ。素晴らしい施設での、家庭的なケアが充実されることを望んでやまない。



ふるさと
みる記

福岡町

菅笠のある町

岸野有三さん(58)

テレビの時代劇や芝居、また、花笠祭りなどに使われている笠。そのほとんどが福岡町で生産されているという。知る人ぞ知る福岡の菅笠



ここ福岡で菅製品の間屋を営む岸野有三さん(68)。この稼業についてかれこれ五十年。「菅笠一筋やったから」と自ら語るように、菅笠に関しては大ベテランだ。

「菅笠づくりは四百年前から始まったものですが、当時は加賀笠として全国に売りに出されていたんです。なんでも、福岡で菅笠づくりが盛んになったのは、小矢部川の氾濫でできた沼に菅の草がたくさん生えていたからだという。当時は、農閑期の仕事として、また、貴重な現金収入の仕事として町に根づいていた。」

「最近では、京都の映画村にもよく出荷します。また、農具としてだけでなく、マスコットとしての菅笠、色紙を入れて飾る雲版、茶席のさぶとんに用いられる円座、わらし、米俵などにも菅製品が使われるようになりました。やっぱり、皆さんが求めるような新しい菅製品を常に開発していかなくては。」

菅ととも生きてきた岸野さんは仕事が生きていく。私たちが町には菅がある。菅笠がある。胸を張っていい。強い。



鯉に恋して

谷内則之さん(32)



「昔から鯉は好きでした。やっぱり好きじゃないとやっていられせんよ。なんせ、胸のあたりまで水に浸るんだから。」と語る谷内則之さん(32)。福岡町鯉技術指導研修センターに勤めて九年になる。

「養鯉をやっている一番注意しなければならぬのは病気。早く発見してやらないとね。あとは選別。錦鯉として使える鯉とそうでないものを分けるんです。商品として通用するのはほんのわずかですけども。」

もともと福岡町の矢部地区は庄川と小矢部川

戦っていきなさいという谷内さん。健康によくておいしい鯉を是非皆さんで、とPRにも力がある。

昔懐かしい五位山方言集

小橋重信さん(60)

「人と話して、おまえ変わった言葉使ってるの」といわれ、方言に興味をもって調べたのがきっかけ。昔からずつといい伝えられてきた言葉がなくなっていくうちに、本にしてみたいと思っただけです。もともとがなんでもやってみたい性格だから」と語る小橋重信さん。

小橋さんは去年四月に地元五位山地方の方言を集めた「五位山地方方言集」を発刊した。日常のふとした会話の中から「これは」と思うものを秘かに忍ばせたメモに記す。その中から厳選して作ったというこの方言集は、B5版、十六ページで百八十語を収録。方言、用語例、標準語という構成になっている。では、その一部を紹介。

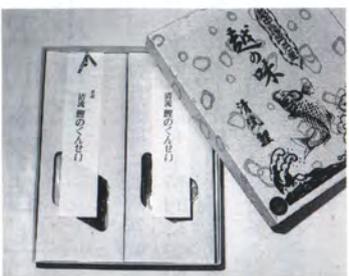


福岡町の概要

人 12,472人(1月1日現在)

面積 58.62平方キロメートル

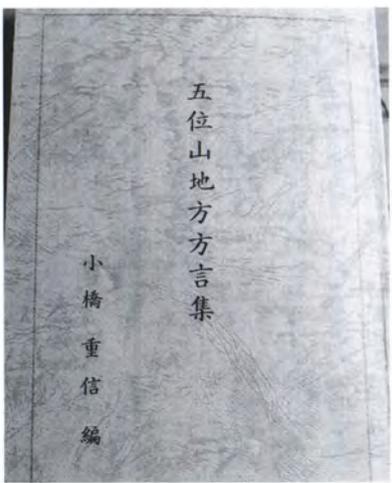
全国でも福岡町だけにみられる独自の「つくりもんまつり」は、9月23、24日、五穀豊饒を感謝して行われる。野菜や穀物、野の草花で作られた大型のデコレーションが町の各所に飾られ、県内外から10万人もの見物客が訪れる。



にはさまれた湿地帯。沼地が多く、水田への開拓が難しい。そこでその沼地を利用して、鯉の養殖を始めたのがきっかけ。なんと起源は江戸時代慶応年間にさかのぼるといふ。福岡町は鯉の中でも特に食用鯉の生産が盛んで、県内生産の九五%を占めている。

現在、食用鯉の需要拡大をねらったものとして鯉の新巻、薫製などがある。また、来年から鯉のドリンク「鯉胆(りたん)」も売り出される予定だ。

「これは鯉を酒で煮てエキスを取り出したもの。仮性近視や腎臓、肝臓に効能があります。鯉は昔から薬用魚として知られ、粘液でおおわれていれば一日水から出しておいても平気、また寿命も二、三百年と生命力が強いんです。」特産を生かしてこれからも新しい加工品に挑



五位山地方方言集

小橋重信 編

「モテン」に自分のことばかり
「ただ一途」に自分のことばかり
それが一番「アジコト」になる
それが一番心配になる。
人の色顔みて「ハバアワス」
人の顔をみながら「調子を合やす」
こうしてできた方言集は、自分の住んでいる地区、友人、親類などに配付。その他に、方言集のあることを知って求めてくる人も多く、百三十五部作った本はまたたく間になくなった。好評に応じて、十二月には第二集が発刊された。
「この方言集を、都会の子や孫へ送りたいといつて持つていかれる人もいます。皆さんに喜んでいただき、よかったです。」と小橋さん。この他にも、俳句、カラオケ、マラソンと多趣味の氏は次は何に挑戦しようかと思案中だ。



動きだした北陸新幹線 本格着工決定



トピックス

お知らせ

北陸新幹線の建設は、整備計画の決定以来、国の財政再建や国鉄改革などにより、着工が見合わされてきましたが、昨年八月に、部分的に工事を行い、順に開通させながら全線を整備する方法が決められました。この中では、高崎・軽井沢間を平成元年度に本格着工し、高岡・金沢間、魚津・糸魚川間も引き続き着工するとされました。

これを受けて、平成元年度の国の予算編成で次のことが決定されました。

高崎・軽井沢間本格着工 加越トンネル着手

北陸新幹線の高崎・軽井沢間（通常新幹線、四十一キロメートル）の建設を本格的に始めるため、国の予算として五十億円が計上されました。地域とJRの負担分を合わせると、百二十七億円の工費が投入されることになります。

また、高岡・金沢間の加越トンネル（六・一キロメートル）について、三・九億円の難工事予算が計上され、元年度は全額国の負担で着手されることになりました。

建設費の負担

建設費については、JRが五十パーセント、残りの五十パーセントを国と地域で負担することになりました。地域の負担は、軌道などで十パーセント、駅舎などで二十五パーセント

トとなっています。これは、国道や港湾の地元負担と同じ考え方で、開発利益を受ける地域が一部を負担するものです。

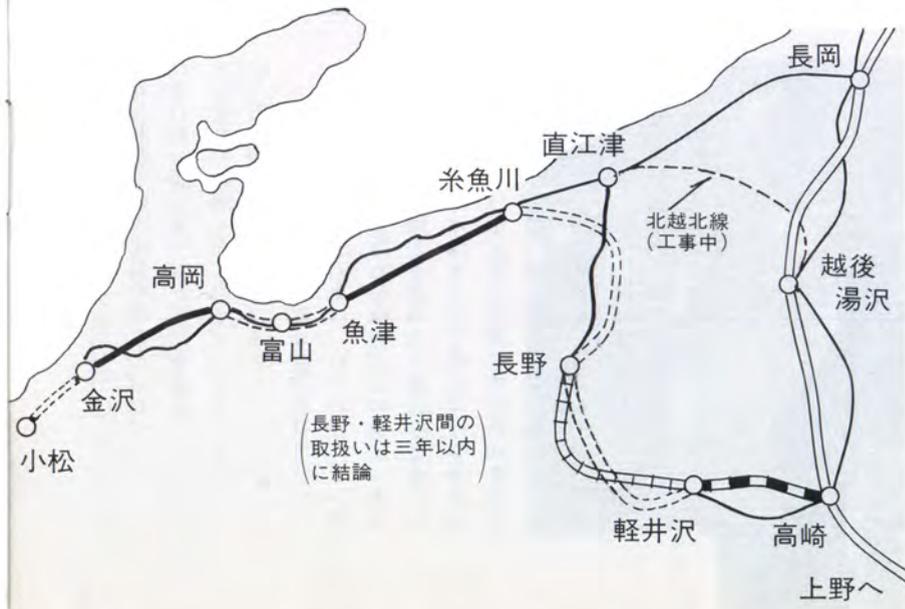
スーパー特急で 38分短縮

北陸新幹線が全線整備されると、富山から東京へは二時間十分で行けることになり、スーパー特急では、二時間四十八分となります。現在の三時間二十六分（三月十一日以降は三時間二十分）から三十八分の短縮です。

その場合は、富山駅でスーパー特急に乗り、現在建設中の北越北線を経由し、越後湯沢駅で上越新幹線に乗り換えることとなります。

一日も早い利用のために

北陸新幹線の建設は、やっとスタートに近づけました。しかし、富山駅にいつ新幹線が入ってくるかは、今のところ明確になっていません。技術的には六年で全線が完成するとされていますが、それも今後の予算次第です。これからは、金沢・高岡間と魚津・糸魚川間が本格着工され、一日も早く利用できるよう、今まで以上の粘り強い運動が必要です。皆さんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。



	標準軌新線
	新幹線直通線 (ミニ新幹線)
	新幹線規格新線 (スーパー特急)
	既存の新幹線
	在来線
	整備計画ルート

既存の新幹線が走行。最高時速260km。

在来線レールの外側に新幹線用のレールを1本追加。車両は、在来線サイズの小型新幹線。最高時速130km。

トンネルや路盤は、整備計画ルートで新幹線規格のものが新しく作られる。レール幅と車両サイズは、在来線と同じ。最高時速160~200kmのスーパー特急が走行。

税制が変わります。

消費税の創設と所得税等の軽減を柱とする税制改革が行われ、国税、地方税（県税、市町村税）が大きく変わります。その主な改正内容は次のとおりです。

国税（消費税）

四月一日から、原則として商品やサービス等のすべての取り引きに対して三パーセント（新車の普通自動車は経過的に三年間六パーセント）の消費税が課せられることになりました。

実際の納税は製造、卸、小売等の各段階の事業者が行いますが、税額はそれぞれの段階で価格に上乗せされ、最終的には消費者が負担することになります。

地方税

個人住民税は三段階に
個人住民税は、均等割（県内に住所のある方などに等しく負担していただくもの）と所得割（前年中の所得により負担していただくもの）とに区分されますが、このうち所得割の税率構造が簡素化されます。これまで五パーセントから十六パーセントまで七段階の刻みだったものが、五、十、十五パーセントの三段階になります。

料理飲食等消費税は三パーセントに
料理飲食等消費税は、「特別地方消費税」となり、税率が十パーセントから三パーセントに引き下げられます。また、免税点が引き上

げられ、飲食等が二千五百円から五千円に、宿泊等が五千円から一万円になります。ただし、国税の消費税はすべての飲食、宿泊にかかります。たとえば、二千円の食事では六十四円（消費税三パーセント）分、六千円の食事では三百六十円（消費税三パーセント）と「特別地方消費税三パーセント」の計六百六十円が消費者の税負担となります。

娯楽施設利用税はゴルフ場利用税に
パチンコ店やボーリング場などの利用にかかっている娯楽施設利用税はゴルフ場だけを対象とした「ゴルフ場利用税」となり、一人一日標準で千円程度の税負担が八百円に引き下げられます。ただし、プレー代には三パーセントの消費税がかかります。

不動産取得税
一定の要件を満たす新築住宅を建築した場合に控除される税額が、最高十三万五千円から三十万円となります（平成元年四月一日以降建築分から適用されます）。



お問い合わせは お気軽に

消費税については、もよりの税務署（間税担当部門）へ
消費税の仕組みや納税事務の手続きについての説明会を開催しています。また、詳しいパンフレットも用意しています。

地方税については、もよりの県税事務所・市町村役場へ

県政の動き

1月11日～2月10日

- 1月14日 「成人の日」記念優良青年等表彰式
- 1月15日 ガン・カモ科鳥類生息調査（～18日）
- 1月21日 第42回県民体育大会冬季スキー競技会（～24日）
- 雪ん子ラガー交流交歓大会（～22日）
- 1月27日 青少年保護育成審議会
- URUOI会議
- 1月28日 黒部ですこす雪ん子のつどい



1月28日 コロンブス計画第五回ティーチン



- 2月1日 第4回富山県中核農業士・青年農業士等の集い
- 2月4日 第28回富山県農村教育青年会議
- 省資源・省エネルギー運動富山県民会議
- 「北方領土の日」街頭キャンペーン



- 2月5日 冬季県民レクリエーション大会（雪のシンフォニー）
- 雪のファンタジーコンサート
- 2月7日 第26回全国中学校スキー大会（～9日）
- 2月9日 岡田謙三展開会式（～3月31日）



中小企業のみなさんへ

労働災害防止のために安全衛生推進者を

労働安全衛生法が改正され、四月一日から職場の安全と健康の担当者として、安全衛生推進者（工業的業種）または衛生推進者（非工業的業種）を選任しなければならないことになりました。

選任基準

①大学卒業後一年、高校卒業後三年、その他については五年以上安全衛生の実務に従事している者。

②資格講習修了者。

対象事業場

十人以上五十人未満の労働者を使用す



※詳しくは、富山労働基準局安全衛生課（☎0764・32・2727）へ

平成元年 4月街頭献血日程

日	曜	場	所	時	間
4	土	高岡駅前		10:00	～15:30
		氷見市サンパーク氷見店		10:00	～15:30
2	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前		10:00	～15:30
3	月	立山町役場前		10:00	～15:30
8	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前		10:00	～16:00
10	月	庄川町役場前		10:00	～15:30
13	木	新湊市役所前		10:00	～15:30
15	土	富山西武前		10:00	～16:00
16	日	富山西武前		10:00	～16:00
17	月	福岡町役場前		9:30	～11:00
		福岡駅前		12:00	～15:30
22	土	富山駅前		10:00	～16:00
		高岡駅前		10:00	～15:30
23	日	富山市中央通り	さんぼーろ	10:00	～16:00
24	月	大沢野町役場前		10:00	～12:00
		大沢野町図書館前		13:00	～15:30
29	土	砺波市チューリップフェア会場		10:00	～15:30
30	日	高岡駅前		10:00	～15:30



世界へ飛び出せ

団員募集

青年の翼 婦人の翼

第9回 富山県青年海外派遣

派遣国 アメリカ・メキシコ
期間 十月十二日(木)～二十四日(火)
十三日間

募集人員・資格年齢
（一般部門）約六十名（うち身体障害者三名程度）

二十歳以上三十歳未満
（農業部門）約十五名（うち農業高校生・短大生三名程度）

二十歳以上三十五歳未満
募集期間 三月十日(金)～四月十日(月)

団員負担金 約十七万円
派遣国 アメリカ・カナダ

期間 十月十二日(木)～二十四日(火)
募集人員・資格年齢

約三十名
三十歳以上五十五歳未満（地域での活動が顕著な方なら、五十五歳以上六十歳未満の方でも可）

団員負担金 約十七万円
募集期間 三月十日(金)～四月十日(月)

（市町村により異なる）
※詳しくは、県庁婦人青少年課（内線763）または、市町村担当課へ。

少年に愛のひと声を！

卒業期の少年非行を防ぎましょう

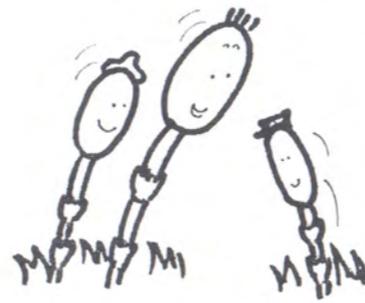
三月から四月にかけては、少年の非行や家出が多くなります。昨年のこの二か月に警察が発見し、保護した家出少年は全国で五千五百人あまり。そのうち九人に一人が非行に走り、二十四人に一人が犯罪の被害にあっています。

家庭では

暖かい思いやりのある態度で子供と接し、持ち物や言葉づかい、行動に不審なことがあれば、適切な指導や助言をしましょう。

地域では

すべての人が「よその子もわが子と同じ」という気持ちを持ち、非行に陥りそうな少年を見かけたときは、「ひと声」かけて非行を未然に防ぎましょう。



3月は 納税強調月間です

あなたの税金が、明日の富山県を創ります。一層のご理解とご協力を。県税についての相談や苦情は、気軽に所轄の県税事務所へ。



『立山と生活』

あばれ常願寺川



常願寺川は、日本でも指折りの暴れ川で、常に川が静かであることを願う気持ちから「常願寺川」と呼ばれるようになったと伝えられています。

立山から流れ出る凄まじい流水と土砂による自然の脅威。それらを治水工事業や砂防工事等で克服してきた先人たちの苦労と知恵を描いています。

16ミリカラー・2巻20分
昭和六十三年度文部大臣賞受賞
▼利用申し込みは、富山県視聴覚ライブラリー
(0764・32・6420)、魚津市視聴覚ライブラリー(0765・22・2495)、高岡市視聴覚教育センター(0766・20・1251)、砺波市視聴覚ライブラリー(0763・32・4078)

春待つ、こころ 山行きの習俗

又女性が花カンザシをつけたのも、髪を飾る意味あいからではなく、カンザシとは挿頭(かざり)のことで、古くは、女性が臨時の巫女(みこ)となつて正月神に花を供え奉仕する習俗からきたものという。

いずれにしろ、春は、自然を最も意識する

春の光が雪国に輝き、雪解の間から黒い土が、草木の芽が顔を出したときの喜びは、雪国に住む人でなければわからないであろう。それだけに、北陸の人々にとって、春はとりわけ楽しいものである。

古来、春を待つところが、素朴な自然信仰を生み、「山行き」という習俗を生み出した。

この「山行き」は、山に登り、ツバキの花などの中で共に飲み食い、花などを摘み家に持ち帰る楽しみごとの一つであった。山は聖地であり、その木や花には神霊が依りつくと考え、この神霊を呼ぶために草花を持ち帰るのである。

ところで「山行き」の主役である花「ハナ」は、ものの先ぶれのしるしを意味しており、農家の人たちが春山の花を家に飾つたのも、本来は、豊作を象徴的に具現したのである。



季節であり、我々に期待と希望をもたらし、生を証(あかし)する季節でもある。

(文・米原 寛)

みなさんの相談窓口

県政については	消費生活については	交通事故については
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話) 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411(代) 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311(代) 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151(代)	消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内 (一般相談は) ☎(0764)32-9233 (金融相談は) ☎(0764)33-3252 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777	富山県交通事故相談所 県庁2階 ☎(0764)31-4111内759 相談110番 暴力団、家庭問題、覚せい剤、悪質商法、困りごと、警察に対する要望や苦情など、どんな相談にも応じます。 ☎(0764)42-0110

見てください・聞いてください、県からのホットニュース

66 TV	RADIO	NEWSAPER
テレビ広報 ●北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30 「こんにちば富山県です」 3/19 “富山の顔”大募集 3/26 地域医療計画(手話) 4/2 平成元年度 今年の予算 4/9 春の交通安全運動 4/16 TOYAMA NOW in 原宿 ●富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30 「110万人のひろば—クイズ/フォーカス・イン」	ラジオ広報 ●FMとやま 「ふれあいホットライン」 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。 毎週月~金曜日 AM9:30~9:35	新聞広報 ●北日本、富山、読売、北陸中日 毎月第2土曜日 「県からのお知らせ」 毎月最終土曜日 「みんなの県政」 ●朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

編集後記

★流杉老人ホームの方たちはとても元気で。ゲートボール、カラオケ、手芸等々…。多彩な活動には驚かされます。中でもゲートボールは対抗試合で負けたことがないそうです。このお年寄りの元氣、見習わなくてはなりません。(M)

★鯉が名産の福岡町。鯉の寿命は二百年くらいあるそうです。ということは、皆さんの近所にいる鯉も平成・昭和・大正・明治……。もしかしたら、富山県が富山藩や加賀藩だった時代から私たちの生活を見てきた鯉もいるかもしれませんね。(T)

★上平村のジャンさんは、カラオケがとて上手。早口ことばのような中森明菜の歌もお手のもの。彼女のあとは誰も歌えなくなってしまう。ところで、彼女のよいうな英語指導助手は県内に三十七名。今どきの子供は何と恵まれてるのでしょうか!! (A)



終りのに

脱がなしのの!?

雪がとけたら、スパイクタイヤは早めに交換を!

富山県